

第5回関東甲信越ブロック評議会開催結果

1. ブロック評議会開催概要

第5回関東甲信越ブロック評議会

開催日時 令和4年2月28日(月) 14:30～17:15

開催場所 AP東京八重洲 7階 Pルーム及びWEB参加のハイブリッド方式(幹事:東京支部)

議事内容

- 1.開会挨拶……元田支部長(東京支部)、恩藏評議員(東京支部)
- 2.本部挨拶……本部 企画部長
- 3.各支部評議員挨拶
- 4.議題「協会けんぽの収支見通しについて
～平均保険料率の設定および準備金について～」
 - 論点1 「平均保険料率10%の維持について」
 - 論点2 「準備金の残高について」
 - 論点3 「準備金の還元策について」※各論点について、代表の各支部で意見発表したのち、フリートーク形式で実施。

出席支部 及び 評議員 出席者	茨城 (WEB参加)	栃木	群馬 (WEB参加)	埼玉	千葉	東京	神奈川 (WEB参加)	新潟	山梨 (WEB参加)	長野 (WEB参加)
	学識経験者	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事業主代表										
被保険者代表										1

埼玉支部
出席者 中川議長、柴田支部長

ブロック評議会とは

保険者機能の発揮に係る評議会での議論をより一層進めるために、他支部の評議会との情報共有や横の繋がり・交流の拡大を図ることを目的とし、開催することとしている。

2. 主な意見等

論点1 平均保険料率10%の維持について

出席者の主な意見

- 今後、協会の財政状況がより厳しくなっていくことが予想されるが、たとえ準備金を取り崩すとしても、平均保険料率10%は将来にわたって堅持してほしい。
- 健康保険料率だけでなく、厚生年金や介護保険の料率も加えてみれば、すでに30%近い保険料を加入者・事業主が負担しているわけであり、負担の限界と今後の協会財政が楽観視できない状況と併せて考えると、10%維持することはやむを得ないのではないか。
- 都道府県料率が、インセンティブ分の保険料率より大きな範囲で変動する仕組みの是非についてご検討いただきたい。
- 平均保険料率10%で中長期的に考えていくということには異論はないが、実際には単年度で見たときに、毎年、都道府県料率が上がった・下がったということがあるので、一時的要因を排除するなど、フォーミュラーの見直しを検討してはどうか。(中川議長発言)

論点2 準備金の残高について

出席者の主な意見

- 準備金が5か月分積み上がっているという事実、協会の財政状況が今後は厳しくなることが予想されるので、中長期的な視点が必要であることについて、加入者・事業主が理解できるように議論をして分かりやすく説明できるようなかたちにすべきではないか。
- 平均保険料率10%を維持しながら、現在あまり医療費を使っていない加入者も健康維持できるような、着実な効果が見込まれる保健事業の充実に向けた検討を加速していただきたい。
- 準備金の役割が、短期的なリスクへの備えから、非常に困難な中長期的なリスクへの備えに代わってきているのではないか。長期的リスクに十分な対応策が見えない現状においては、準備金がどの程度あれば十分なのか、上限を設けることはできないのではないか。

論点3 準備金の還元策について

出席者の主な意見

(制度的に還元が可能か否かは別として)

○健康な方にもメリットが及ぶようなことと言えば、例えば、家庭常備薬などを安価で提供するなど、他の健康保険組合で実施している事業について、参考になるものもあるのではないか。

また、被保険者に対する人間ドックなど健診費用補助の拡大や、被扶養者健診内容の充実に使っていくのはどうか。(中川議長発言)

○健康経営を取り組んでいる事業所に対しての支援も必要ではないか。

○事業を執行する予算が結果として余るということであれば、なぜ使いきれなかったのか、そもそもの計画が妥当だったのか、適切だったのか検証をきちんと行い、どこに言えば効果的なのか、個々に検証していく必要があるのではないか。

本部企画部長 講評

○都道府県料率の変動については、そもそも医療費についてなぜ地域差があるのか、どのようなかたちで保健事業をやっていけば、その差が小さくなっていくのか、今後、外部委託で研究事業を進めていくところ。

○協会の準備金・財政状況、保険料率の仕組みといった制度もあわせ、加入者・事業主にご理解いただくよう、周知について工夫が必要と考えている。

○準備金残高については、将来のリスクを勘案し、上限を設けることは難しい。

○支部ごとの独自性を生かした支部主導の保健事業の実施に向けた仕組みの検討や健診の内容、利用者負担額の軽減を含めた健診等の実施率の向上を図るための具体的な方策を検討しており、ある程度まとまった段階でご相談させていただきたい。